

2020年度 年末手当回答＋追加支給要求シリーズ①9

東日本ユニオン 中央本部

これが現場社員の声だ！

- 先日、支社主催研修の講義で「今回のボーナス 2.2 ヶ月は少ないと感じた方はいますか？」との質問があり、挙手したのは私だけでした。赤字決算に陥った現状と他社の情勢を見れば理解はできるものの、多いか少ないかと問われれば少ないと感じるのは当然であるし、厳しい状況の中でも我々は尽力してきたことを鑑みれば、もう少しは出せたのではないかと発言をしました。私の発言は否定されませんでした。講義の中身はやはり、このような状況でも「2.2 ヶ月出した」と言わんばかりの内容でした。同時に驚いたのは、私以外は誰 1 人と今回の 2.2 ヶ月という回答に少ないと感じていないということでした。もしかしたら研修という手前、本音では少ないと感じつつも言い出せなかった人もいるかもしれませんが…。
翌日の講義でも同じく「このような赤字決算でも 2.2 ヶ月出したんだよ」と言わんばかりの講義内容でした。たしかに財政も厳しい状態にあるのは十分に理解できますが、そのような中で社員にコスト削減やコロナ対策の徹底を求める一方、今回の研修も含め本当に必要なものなのか？会社のコスト意識やコロナ対策に対する意識に疑問を感じざるを得ません。それならばもう少しは出せるでは？と私が感じたことです。個人的な話をすれば、前回の年末手当と比べ今回は計算上ですが約 33%、金額にして約 21 万円の減少となります。おそらく大多数の組合員、社員が同じような減少幅になっていると思います。
- 夏のボーナスより低いことはあり得ません！全組合員コロナでも普通に仕事をしています！家族も鉄道会社の人にはコロナになると不安になっているのが現実です。
- コロナ禍における、このご時世で要求差額の追加支給を要求するのは「悪」なのか？2.2 ヶ月だと家計も厳しい！納得するまで闘うことは、俺からしたら「悪」ではなく正義だ！
- この回答に納得なんかできない！0.8 ヶ月分の追加支給、全面的に支持します！こんな低額ではモチベーションも上がらない。家計も切り詰めるしかない。これから「安全・安定輸送」に従事できるか不安です。これが職場で聞く多くの声です！
- 要求満額支払う体力があるという経営側の発言は、私たちに希望を持たせました。しかし、回答に失望しました。「足りない！」です。